

防虫剤の取り扱いや誤食に注意しましょう！

10月は衣替えの時期です。日本中毒情報センター中毒110番では、4～5月と10月の衣替えの時期に防虫剤に関する問い合わせが増加します。



防虫剤について以下のような問い合わせがあります。

「衣替え中にタンスから取り出した防虫剤を子どもがなめた。」

「高齢者が防虫剤を飴と間違えて食べた。」

「規定の量より防虫剤を多く使用して、においが強い。」



防虫剤には、薬剤をパルプなどに含浸させた無臭性のピレスロイド製剤、特有の臭気があり徐々に小さくなるタイプの樟脳（しょうのう）、ナフタリン、パラジクロルベンゼンがあります。特に樟脳、ナフタリン、パラジクロルベンゼンを誤食した場合は、重い症状がみられる可能性があります。

●事故防止のために以下の点に注意しましょう。

- ・使用方法や注意書きをよく確認して、使用量や使用方法を守って使いましょう。
- ・衣替えで防虫剤を使用する場合は、部屋の換気を行いましょう。
- ・衣替え中も、防虫剤は子どもの手の届かないところに置きましょう。
- ・食品と誤認しないよう、食品とは離れた場所に保管しましょう。

●以下のリンク先の情報も参考にしてください。

- ・日本中毒情報センター 中毒事故の問い合わせが多い家庭内の化学製品 防虫剤
<https://www.j-poison-ic.jp/general-public/response-to-a-poisoning-accident/chemical-products/#i-29>

事故が発生し、受診すべきか判断に迷った場合は中毒110番にご相談ください。

公益財団法人日本中毒情報センター 中毒110番電話サービス（一般向け）

- 大阪中毒 110番（365日 24時間対応） 072-727-2499
- つくば中毒 110番（365日 9時～21時対応） 029-852-9999

本資料を引用又は使用して資料作成・報道等を企図される場合は、必ず事前にその内容について日本中毒情報センター（本部事務局 電話：029-856-3566）の承諾を得、「公益財団法人 日本中毒情報センターの調査による」旨明記して下さい。